

2021年 第1回専門医制度委員会議事録(案)

日時:2021年4月22日(木) 7:00~8:00

場所:京都国際会議場

出席者:担当理事:波呂浩孝、委員長:中村雅也

大川淳、竹下克志(web)、渡辺雅彦、明田浩司、藤田順之、海渡貴司、星野雅俊

(敬称略)

議題

1. 専門医研修プログラム基幹研修施設新規登録について(波呂理事)

新型コロナウイルス感染の拡大を受けて、手術件数にも大きな影響が出ており、これまで3年連続で100症例/年をクリアすることを施設要件としていたが、2021年の募集はCOVID-19感染症が蔓延した2020年以降は、3年間100症例/年(必ずしも連続でなくとも良い)をクリアすれば施設として認定する旨が報告された。

2. 専門医機構へのサブスペシャリティ領域申請に関して(波呂理事、大川委員)

資料を用いて、日本整形外科学会が主体となって、日本脳神経外科学会とともにレビューシートが提出されたことが報告され、機構における議論の状況が大川委員より報告された。21領域のサブスペの申請が出ており、そのうち11は議論の俎上に上がっている状況との説明があった。今後の機構内での議論の方向性を今後も本委員会で共有していくことが確認された。提出したシートに関して、数値目標はクリアしているが、内容の一部記載が少ないので追加したほうが良いとの意見が出ていると報告された。

3. 専門医試験問題の改訂について(藤田委員)

ワーキンググループのメンバー(明田、海渡、藤田、星野)で改訂作業を行い、その進捗状況が報告された。初版で掲載された設問数が172題、掲載していなかったストック設問が149題で、今回の改訂で3割を目安に設問を更新するとの方針に沿って作業を行った。

現時点では、初版設問の内容修正:8題、ストック設問への差し替え・追加:26題、新作設問への差し替え・追加:10題、削除:1題の45題を変更し、現時点の設問数が179題となった。特に気になる設問に関して説明がなされ、改訂内容を確認した。今後は改訂内容をNSJとの合同会議にて議論することとなった。

以上